看護職員の負担の軽減及び処遇の改善について

帆秋病院では、看護職員の負担軽減及び処遇改善の取り組みを実施しています。

1、看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制

1）看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する責任者　　亀田　将史

2）看護職員の勤務状況の把握等

①勤務時間　　平均週　28.5 時間

うち時間外労働　約　0.23　時間

② ２交代･変則3交代夜勤に係る配慮

夜勤後の暦日の休日の確保　（2交代）

夜勤後の休日の確保

連続夜勤は２回までとする

月夜勤回数の上限設定（3交代８回、2交代5回まで）

至誠会　帆秋病院

③多職種からなる役割分担推進のための委員会または会議

開催頻度　　12回/年

参加人数　　平均約13名/回

参加職種　　医師・薬剤師・看護師・精神保健福祉士・作業療法士・
臨床検査技師・放射線技師・栄養士・事務員

④看護職員の負担の軽減及び処遇に資する計画　　ホームページ

⑤看護職員の負担の軽減及び処遇に関する取り組み事項　　ホームページ

2、看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取り組み内容

1）業務量の調整　　業務量調査を年１回行う

2）看護職員と多職種との業務分担　　ホームページ

3）看護補助者の配置

病棟の実態に合わせた配置

病棟内での環境整備や食事介助および配膳

4）短時間正規雇用の看護職員の活用

妊娠中･子育て中の方の正規雇用

介護中の方の正規雇用

5）多様な勤務形態の導入

２交代･変則３交代勤務のほか、早出･遅出･午後勤務の勤務形態

6）妊娠･子育て中、介護中の看護職員に対する配慮

子育て中の方の院内保育園の活用

他部署への配置転換

7）夜勤負担の軽減

夜勤従事者の増員

連続夜勤は２回までとする（上限８回まで）

至誠会　帆秋病院

帆秋病院における看護職員の負担軽減計画および分担表

2025年4月現在の看護職員の勤務状況

1、看護師80名　准看護師42名　看護助手44名
2、平均業務時間　　平均　28.5　時間

目標
　帆秋病院では、看護師の業務量調査を行い業務の平準化や標準化を行い、看護師の負担軽減を進めるには他の職種（各部署）の協力体制が必要であり、看護師が担ってきた業務等の多職種への分担を進めることを目標とする。

作成日　2025年4月30日

分野	現状	2025年度目標	達成のために必要な手順	達成チェック	
栄養部	・朝食配膳車を、食堂入口まで配達している。	・遅配膳をなくす ・夕食時の配膳車を食堂まで配車する	・調理職員が食堂入口まで配達した時点で、病棟へ電話で連絡を行う。	2024年度 ☑	2025年度 ☐
薬剤部	・病棟内の薬品管理を看護師が伝票と共に薬剤部までその都度受け取りに行っている	・救急カートの薬品管理 ・屯用ボックスの運用管理	・救急カート内の薬品を各病棟配置・数を統一 ・夜間使用する屯用ボックスを交換（1日1回）する	2024年度 ☑	2025年度 ☐
地域連携室	・外来患者予約は、外来看護師が行っている。	・新患予約は、地域連携室が行う ・皮膚科申し込み書の管理・FAXを行う	・情報の共有と、連携を行いスムーズな外来の運用ができる。	2024年度 ☑	2025年度 ☐
作業療法士	・転倒転落予防のための患者評価を行っている。	・廃用症候群によるADL低下防止のため、多職種と情報交換を行い、作業療法の導入、環境整備、身体機能の向上を図り、看護師の負担軽減を行う ・日中の活動加速し、看護師の見守り・不穏対応の負担軽減を図る	・看護師は、栄養状態やふらつきなど患者さんの状態の観察を行い、作業療法士や理学療法士へ情報提供する。	2024年度 ☑	2025年度 ☐
臨床検査技師	・採血の実施	・採血の実施を行い、外来のスムーズな運用を行う。	・当日の採血者のリストを渡して、情報共有する。	2024年度 ☑	2025年度 ☐
事務部	・看護師のシフト管理システムの導入。	・外来患者の受付システムを導入し、スムーズな外来診療の運用を図る	・管理システムの操作方法を熟知し、職員の労務管理を行う。	2024年度 ☑	2025年度 ☐
医局	・処方オーダーは早めにしている。	・オーダーは16：00までに処方する。 ・臨時と定期で混乱しないよう配慮して指示。	・看護師も医師と情報共有し連携をとる。	2024年度 ☑	2025年度 ☐